

古事類苑

器用部二十三

行旅具中

繖蓋

〔倭名類聚抄十四服玩具〕華蓋。兼名苑注云華蓋和名岐。黃帝征蚩尤時當帝頭上有五色雲因其形所造也。

〔箋注倭名類聚抄六服玩具〕按古今注云華蓋黃帝所造也與蚩尤戰於涿鹿之野常有五色雲氣金枝玉葉止於帝上有花葩之象故因而作華蓋也兼名苑注蓋本之則疑當是常字之誤帝上似脫於字按說文蓋苦也謂以艸覆之也故其字從艸以為繖者蓋轉注也

〔事物紀原三旗旒采章〕華蓋

筆談輦後曲蓋謂之篋兩旁夾扇通謂之扇篋皆綉亦有銷金者即古華蓋也

〔伊呂波字類抄幾雜物〕蓋。キヌカサ。或作蓋張帛也。

〔名物六帖器財五傘笠杖履〕蓋。キヌカサ。繖蓋。曲蓋。徹蓋。

〔倭訓栞前編七〕きぬがさ。日本紀倭名抄に蓋をよめり祝詞に衣笠と見ゆ又華蓋をよめり錦蓋などをいふ也葬儀にも用る也

〔松の落葉四〕笠

かさのまなくさくありよき人のはきぬがさおほがさになんきぬがさのこと衣笠内大臣ときこゆる人のおはせしによりて衣笠キヌカサと心うるはわるし和名抄に華蓋和名岐沼加と見えてい